

# 平成26年度 予算のお知らせ

## 一般勘定

「Better Health, Brighter Future」というTAKEDAビジョン2020を受けて、「加入者の健康サポートを通じて、QOLの向上を図り、事業価値向上に貢献します。傷病に対してはセーフティーネットとして充実した手当てを行います」という武田健保ビジョンを定めました。企業にとってプレゼンティーズム<sup>※</sup>は、医療費のみならず大きなコストであり、従業員や家族の健康の維持・増進は労働生産性の向上につながるという「健康経営」の考え方にに基づき、事業主と連携してより積極的な諸事業を展開してまいります。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

<sup>※</sup>出勤しているにもかかわらず、心身の不調で頭や身体が動かず、仕事の能率が落ちてしまうこと。

## 予算の概要

### 【収入】

健康保険組合の収入は、みなさまからの保険料で成り立っています。加入者の減少はありますが、保険料率の引き上げに伴い増加します。しかしながら、増大する支出を依然下回る収入規模であり、別途積立金を取り崩します。

### 【支出】

病院等にかかられた医療費のうち自己負担分以外の部分を健康保険組合が負担しているほか、出産や傷病欠勤の各種手当金や整骨院での施術費等も保険給付費として支給しています。被保険者1人当たり30万円(支出合計の47%)台になります。

高齢者医療制度への納付金等も増加し、被保険者1人当たり26万円(支出合計の40%)の負担となります。今後高齢化がますます進み、平成27年度からは、後期高齢者支援金に総報酬割が全面適用となり納付金の更なる増加が予想され、健保財政を圧迫していきます。

「特定健診・保健指導実施計画【第二期】」に沿って、人間ドック等の健診や特定保健指導に関する費用が増加します。また、26年度は健診結果やレセプトのデータ分析を通じて、生活習慣病対策を中心に据え、非肥満者や40歳未満のハイリスク者等にもターゲットを

広げ、重症化予防を含む個人レベルの保健指導や受診勧奨等、より踏み込んだきめ細やかな戦略的保健事業へと強化・拡大するための予算を計上しています。保健事業費として被保険者1人当たり4万円(支出合計の6%)としています。

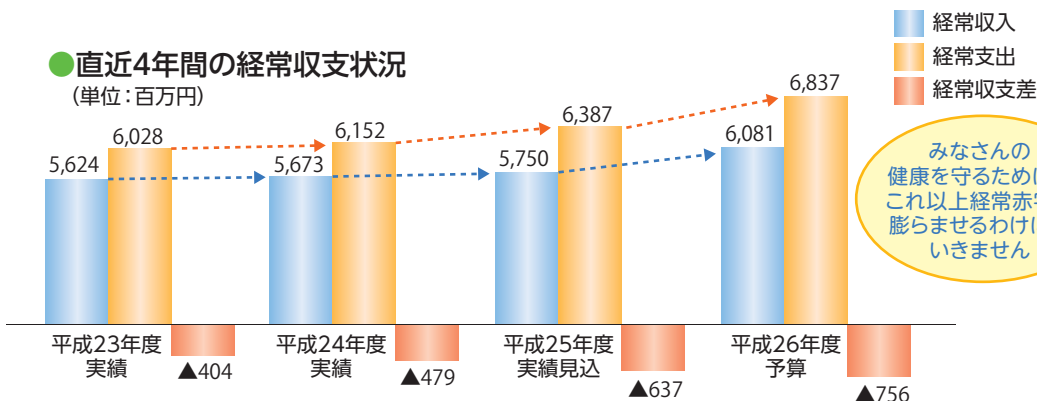
### 【一般保険料率】

平成20年度の高齢者医療制度の改正による負担の増大とともに、平成23年度から武田健保の財政は赤字に陥り、過去3年間別途積立金を充当して一般保険料率を据え置いてきました。医療技術の進展による医療費の自然増のほか、高齢者医療制度への納付金の過重な負担増が続き、今後一層の財政悪化が見込まれることから、保険料率を引き上げざるを得ない状況になりました。別途積立金を取り崩して加入者の負担の急増を抑制し、平成26年度は、0.5%(被保険者0.25%、事業主0.25%)一般保険料率を引き上げます。引き上げにより増加する保険料収入は、保健事業拡大にも活用いたします。

なお、平成27~29年度もそれぞれ別途積立金を取り崩して負担増を抑制しながら、保険料率は0.5%ずつ引き上げる予定です。

### ●直近4年間の経常収支状況

(単位:百万円)



■ 経常収入  
■ 経常支出  
■ 経常収支差

みなさんの健康を守るためにもこれ以上経常赤字を膨らませるわけにはいきません



〈収入の部〉

単位:百万円

科 目	H25年度 実績見込	H26年度	
		予算額	1人当たり(円)
健康保険料収入	5,696	6,040	549,436
保険料	5,692	6,038	549,285
上記の内特定保険料	2,710	2,864	260,529
その他	3	2	151
調整保険料収入	130	131	11,948
別途積立金繰入	584	887	80,690
その他収入	110	111	10,067
(経常収入)	(5,750)	(6,081)	(553,135)
収入合計	6,520	7,169	652,141
保険料率	6.384%	6.884%	

【参考】全国の健保平均

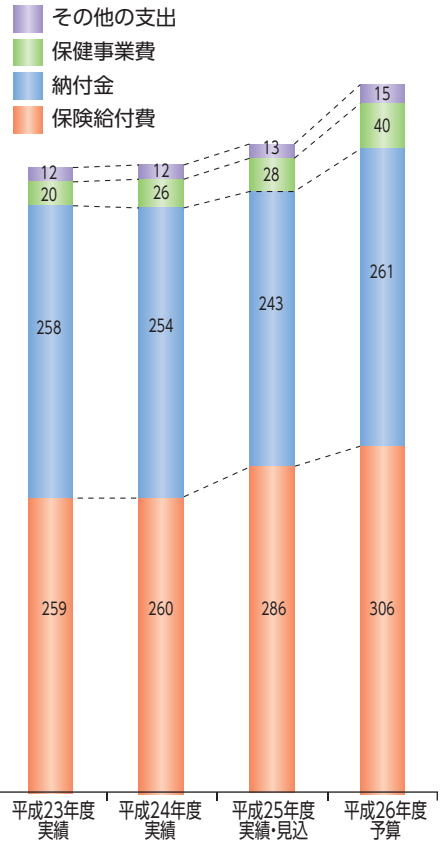
8.6%

〈支出の部〉

単位:百万円

科 目	H25年度 実績見込	H26年度		
		予算額	1人当たり(円)	支出合計の 割合(%)
事務費	145	167	15,197	2.33
保険給付費	3,207	3,359	305,559	46.85
法定給付費	3,040	3,175	288,859	44.29
附加給付費	167	184	16,700	2.56
納付金	2,715	2,864	260,532	39.95
前期高齢者納付金	953	1,065	96,851	14.85
後期高齢者支援金	1,354	1,428	129,888	19.92
退職者給付拠出金	408	371	33,790	5.18
老人保健拠出金	0	0	3	0.00
保健事業費	310	435	39,563	6.67
その他の支出	141	144	13,097	2.01
予備費	0	200	18,193	
(経常支出)	(6,387)	(6,837)	(621,906)	
支出合計	6,518	7,169	652,141	
経常収支差	▲637	▲756	▲68,771	
法定準備金	1,916	1,916		
別途積立金	3,942	3,055		
平均被保険者数(名)	11,197	10,993		

●被保険者1人当たり  
経常支出額(年額) (単位:千円)



義務的経費とも  
いえる納付金や  
保険給付の  
負担は大きいわね

その中でも  
みなさんの健康を  
守るため可能な限り  
保健事業費を  
確保しているんだ!



介護勘定

40歳以上の方を対象にした、介護納付金は、高齢化の進展とともに増加しており、平成26年度は、1人当たり負担額が3,712円増の6万3,300円となり、増加しています。介護保険料率は0.94%となります。

〈収入の部〉

単位:百万円

科 目	H25年度 実績見込	H26年度 予算
介護保険収入	490	555
繰越金	31	11
雑収入	0	0
収入合計	521	565
保険料率	0.86%	0.94%

〈支出の部〉

単位:百万円

科 目	H25年度 実績見込	H26年度 予算
介護納付金	510	559
(1人当たり負担額)	(59,588)	(63,000)
還付金	0	1
積立金	0	5
準備金繰入	0	5
準備金利子繰入	0	0
支出合計	510	565